

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成30年2月15日 (2018.2.15)

【公開番号】特開2017-205373(P2017-205373A)  
 【公開日】平成29年11月24日 (2017.11.24)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-045  
 【出願番号】特願2016-100988(P2016-100988)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月28日 (2017.12.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を実行し、所定条件が成立したときに遊技者にとって有利な特定状態に制御する遊技機であって、

可変表示に対応する特定表示を表示する特定表示手段と、

可変表示において特殊識別情報を停止させてから前記特定表示の表示態様を変化させる変化演出を実行する変化演出実行手段と、

可変表示を特定態様により停止させ、前記所定条件の成立期待度を予告する予告演出を実行する予告演出実行手段と、

可変表示が前記特定態様により停止する可能性がある状態において、前記変化演出の実行を制限する変化演出実行制限手段と、

前記変化演出を実行するか否かを決定する変化演出決定手段と、

前記予告演出を実行するか否かを決定する予告演出決定手段と、を備え、

前記変化演出実行制限手段は、前記予告演出決定手段により前記予告演出を実行すると決定されたときに、前記変化演出決定手段により前記変化演出を実行すると決定されることを禁止することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記予告演出は、未だ開始されていない可変表示における前記所定条件の成立期待度を予告する演出である、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

( 1 ) 本発明に係る遊技機は、

可変表示（例えば、飾り図柄の可変表示など）を実行し、所定条件が成立したとき（例えば、大当たり組合せの確定飾り図柄が導出表示されたときなど）に遊技者にとって有利な特定状態（例えば、大当たり遊技状態など）に制御する遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1

など)であって、

可変表示に対応する特定表示(例えば、保留表示画像)を表示する特定表示手段(例えば、コマンド解析処理にて保留表示画像を表示する演出制御用CPU120など)と、

可変表示において特殊識別情報(例えば、特殊図柄など)を停止させてから前記特定表示の表示態様を変化させる変化演出(例えば、第1保留変化演出など)を実行する変化演出実行手段(例えば、ステップS172を実行する演出制御用CPU120など)と、

可変表示を特定態様(例えば、チャンス目など)により停止させ、前記所定条件の成立期待度を予告する予告演出(例えば、先読みチャンス目など)を実行する予告演出実行手段(例えば、ステップS172を実行する演出制御用CPU120など)と、

可変表示が前記特定態様により停止する可能性がある状態において、前記変化演出の実行を制限する変化演出実行制限手段(例えば、ステップS677、S678及びステップS326や、他の例2の処理など)を実行する演出制御用CPU120など)と、

変化演出を実行するか否かを決定する変化演出決定手段(例えば、ステップS161を実行する演出制御用CPU120など)と、

予告演出を実行するか否かを決定する予告演出決定手段(例えば、ステップS161を実行する演出制御用CPU120など)と、を備え、

変化演出実行制限手段は、予告演出決定手段により予告演出を実行すると決定されたときに、変化演出決定手段により変化演出を実行すると決定されることを禁止する(例えば、変形例参照)

ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この構成によれば、遊技者の落胆を抑制できる。また、特殊識別情報の停止のための処理を容易化できる。